



中橋 友子 議員
(日本共産党 幕別町議員団)

問

町はこれまで各種事業の民間委託を行ってきたが、第4次行政改革推進事業計画（平成28年度～平成37年度）では、さらに推進するとしている。これまでも外部委託が行政サービスの質の低下や、労働者の不安定雇用を拡大し、官製ワーキングプアにつながっていることを指摘しており、次の点を伺う。

- (1) これまで委ねた事業の評価と労働者の雇用実態は。
- (2) 指定管理を検討する事業に図書館も含まれているが、教育分野に係る事業は今後も直営を維持すべき。また、わかば幼稚園、中央保育所の今後の運営計画は。
- (3) 新しい外部委託制度の「包括的民間委託」「公民連携」はどの分野で導入しようとしているのか。
- (4) 住民サービスの向上、労働条件改善の手立てを。

町長 (1) (4) 委託業務については、各担当部署において業務の履行状況等をチェックしており、良



問 図書館等の運営は今後も直営で

答 知の拠点としての図書館の取組はスタートしたばかりで、今のところ指定管理になじまない

好に実施されている。

指定管理については、業務の実施状況や施設の利用状況などをモニタリングした上で評価し、必要に応じて業務改善等の指示を行っており、住民サービスの質の確保や向上に意を注いでいきたい。

労働者の雇用については、適正な労働賃金や労働条件の確保を要請するとともに、各種保険の加入の確認等を行うことにより、引き続き労働者が安心して働ける環境の確保や福祉の向上に努めたい。

(2) 図書館については、生涯学習の拠点施設として長期的視点に立ち、住民と図書館との協働でつくり上げていくものであり、指定管

理にはなじまないとの指摘もあり、他の施設を含め、さらに検討・見直しをしなければならぬ。

町立幼稚園と町立認可保育所については、平成31年度に幼保連携型認定こども園に移行するよう計画に位置づけているが、本町地区における将来の人口動態や地域のあり方を模索するため、現在、教育委員会と協議を進めている。

(3) 第4次行政改革を推進する中で、その活用の調査・研究を行い、住民サービスの向上、施設運営の効率性のほか、受け皿となる事業者等の成熟度、地域経済への影響など、さまざまな観点から検討していきたい。

問 職員の適正配置を

答 組織力を最大限発揮できるよう、適材適所の配置を行う

問

地方分権、地方創生等で職員の事務量は確実に増えて

- (1) 健康を保ち、気概を持って仕事に臨める配置が必要である。
- (2) 時間外勤務の実態。
- (3) 福祉部門などは長期配置の検討を。
- (4) 人事評価の内容。
- (5) 町民・職員が一緒に築く町に。

町長 (1) 次表のとおり。

一人当たり
時間外勤務実績

年度	時間（平均）
H 24	190 時間
H 25	189 時間
H 26	228 時間

(平成 26 年度末現在)

(2) 福祉部門においては、高い専門性が求められるなど、相応の期間、福祉行政に従事することが必要であるが、職員の育成や活用を図るためには、計画的に人事異動を行うことも肝要であり、バランスも考慮しながら適材適所の配置を行っていきたい。

(3) 「能力評価」、「職務態度評価」、「業務評価（職員個々の業務目標に対する達成度を評価）」の大きく三つの評価区分で行っており、今後、試行結果を検証し、本格実施に向けた制度の見直しを行っていききたい。

(4) 全職員が町民と積極的に接する機会を持ち、町民の声を、思いをしっかりと受けとめ、それをまろづくりに反映していきたい。